

## デートDV 予防教育出前講座を行いました

実施日時：平成24年1月12日（木） 5・6限（人権ホームルーム）

対象：3年生

講師：NPO 法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ

片倉 佐知子（かたくら さちこ）さん

1月12日（木）5・6限、3年生の人権ホームルームの時間にNPO法人「女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ」から講師として片倉佐知子さんを招き、「デートDV」防止出前講座を行いました。「デートDV」という問題を身近な問題としてとらえ、付き合っている二人がお互いに対等で、お互いに笑顔であり続けるためにどうしたらいいのかを教えていただきました。

まず始めに、「暴力とはなにか」を学びました。生徒一人ひとりが質問に答えながら、殴ったり、蹴ったりといった目に見えるわかりやすい暴力から、不快な言葉を投げつける、束縛するといった暴力や、お金をたかる、返さないといった経済的な暴力、いやなことをさせる、避妊に協力しないといった性的な暴力まで、様々な暴力があることを確認しました。「これも暴力やねんなあ」という感想もあり、暴力について幅広くとらえることができるようになりました。

次に、代表生徒にデートDVが行われている場面と、デートDVについて相談しているがきちんと聞いてもらえない場面の寸劇を演じてもらいました。クラスメイトが実際の場面を演じるのを見ることで、より身近な問題としてデートDVをとらえることができました。その後、片倉さんからパワーポイントを使って、なぜDVが起きてしまうのか、DVに気付いた時にどこに相談したらよいかといった講義をしていただきました。DVが起きる要因の一つとして、性の差に基づく偏見があり、生徒たちは改めて「男らしさ」「女らしさ」という言葉にとらわれていないかを考え、友達どうしで話し合っていました。

お互いに対等な関係でいるために、自分を尊重し、同時に相手も尊重することが重要であることを学び、すてきな恋愛のルールを教えていただきました。今日の講義をふりかえりながら、最初に寸劇をしてくれた生徒に今度は対等な関係での会話を演じてもらいました。DV場面を演じた生徒は「より良い関係になったと思う」、相談の場面を演じた生徒は「親身になって相談をきいてくれて嬉しかった」という感想を発表してくれました。

最後に早稲田大学の学生が制作したDVDを観賞しました。DVDの中にはお互いを大切にする素敵なカップルがたくさん登場しており、生徒たちからも好評でした。講演の終わりには片倉さんから、どんな人も、いやなことを無理強いされたら拒否する権利がある、たとえ、傷ついても、人には必ず回復するパワーがある、あなたの知識や、あなたの一言が誰かを助けるきっかけになることがある、という力強いメッセージをいただきました。



講師の片倉佐知子さんによる講義



生徒による寸劇



寸劇をした生徒へのインタビュー



真剣に感想を記入しています

以下は生徒の感想からの抜粋です。

- ・お互いに無理をしなくてもいい、安心できるお付き合いをしたいと思いました。
- ・相手を自分の“モノ”だと思わないことが大事だと知った。
- ・上下関係ではなく対等な関係を作ることが、一番幸せになる付き合い方だと思いました。
- ・どの人とも対等に付き合えるような人を目指したいです。
- ・友人関係をよくすることも同じ事だと思った。
- ・デートDVで困っているひとがいたら助けてあげようと思った。
- ・直接的な暴力以外にも、言葉の暴力もDVのひとつであることを知りました。

講演後の感想記入の時間にはどの生徒もそれぞれに今までの行動を振り返り、今後どうしたらいいかを考え、言葉にしていました。今回の講演をいかし、自分のことは自分で決め、お互いのことを大事にできる関係を築いていってほしいと思います。